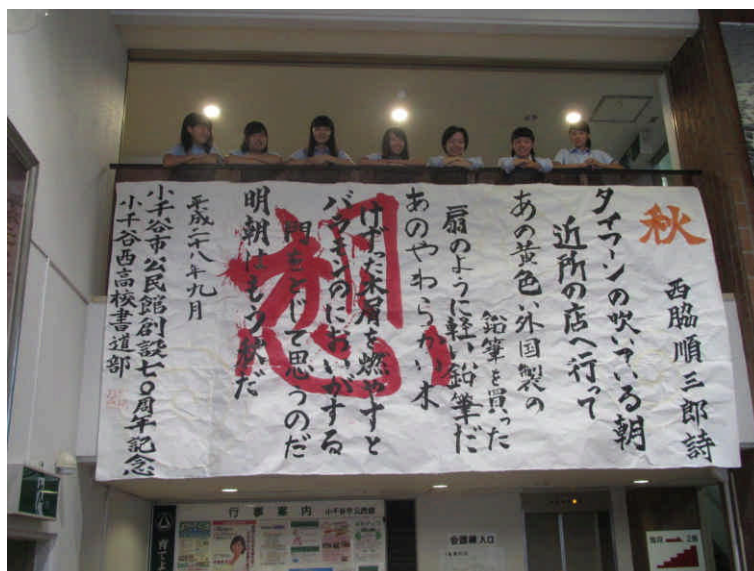




書道部の巨大な作品を展示していただきました！ ～小千谷市公民館70周年を記念して、市民会館に展示されました～



- 小千谷市公民館が創設70周年となることを記念して書道部が制作した作品が、小千谷市民会館ロビーに展示されました。
- 制作したのは書道部の14人です。この作品は、ふるさと小千谷を愛した世界的な詩人であり本校校歌の作詞者でもある西脇順三郎先生の詩の中から、展示期間にあわせて「秋」を選び、書道部員が制作したものです。

☆ 作品をプロデュースした生徒のコメント

「『秋』のなかで最も気に入っているのは、『門を閉じて思うのだ 明朝はもう秋だ』というフレーズです。このフレーズを読んで浮かんだ『想』という文字を、フレーズに重ねて表現することにしました。」

☆ 制作した生徒のコメント

「制作にあたり、一文ずつ部員が分担して書くことにしました。それぞれの文の意味と各部員の個性を表現しながら、作品全体としてまとめあげることができて良かったです。」

- この作品の他、5月に制作した作品「舟陵の鐘」も引き続き展示されています。皆様、是非ご覧ください！